



# 女性委員会だより



～秋田県建築士会 H28 年度活動報告～

## 平成 28 年度委員会会議及び第 1 回学習会に参加して

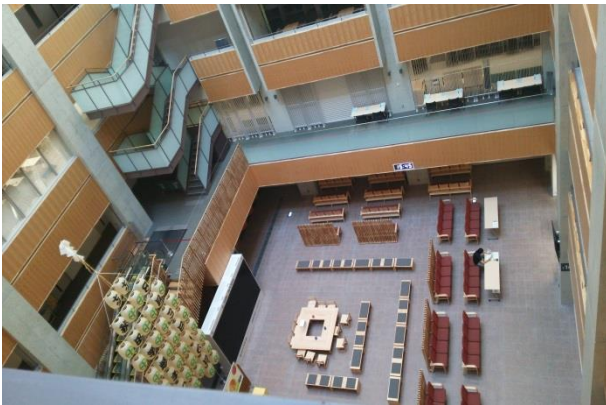
仙北支部 高橋いち子

「6 月 11 日(土)秋田市庁舎 3 階センター洋室に於いて平成 28 年度委員会会議及び第 1 回学習会が行われました。学習会は秋田市庁舎の見学です。

委員会会議では、平成 27 年度活動報告に続き平成 28 年度事業計画について話し合われ、今年度もたくさんの事業が計画されました。女性委員会発足 30 周年記念事業の準備も更に進むようで楽しみです。ティータイムをはさみ、市庁舎について概要説明を受けた後、いよいよ見学です。建物の中心部に広々とした吹抜け空間の市民スペースがあり、トップライトからの自然採光と随所に使われている秋田杉やケヤキなどのおかげでとても柔らかい雰囲気になっていて、用事が無くても来たくなくなるかもしれません。

議場では、質問台の高さが、質問する人の身長に合わせて変えられるようになっているのに驚きつつ、議員のイスに座ってみたり何やらボタンを押してみたりと、やりたい放題の皆さんでした。そして、やはり内装に木材が多く使われてやさしい雰囲気になっていて、こういう議場ではきっとヤジも出ないことでしょう。

残念ながら災害対策本部室は見られませんが、普段は見られない免震装置も見せていただき、また、青年委員会や会員以外の方も参加して下さり楽しい見学会となりました。



## 親子体験学習「きもちのいい家をつくろう」 in 美郷

仙北支部 藤田 晶子

平成 28 年 7 月 30 日 (土) 美郷町宿泊交流館ワクアスにて「親子体験学習～きもちのいい家をつくろう in 美郷」を開催しました。親子体験学習は、平成 18 年より県南横手市から始まり、県北、中央と順番にまわり、今回 1 2 回目で県南仙北での開催となりました。

ワクアスは廃校になった仙南東小学校を宿泊施設として再利用した施設です。作業した多目的ホール(旧体育館)はエアコンなど無いため、熱中症にならないよう気をつけて、思い思いのマイハウス・マイルームづくりに奮闘しました。

参加してくれた 10 組の親子それぞれに、女性委員と青年委員の建築士 2 人が手助けしながら、事前に考えてきてもらった「きもちのいい家」をカタチにしました。作業中は子供も親も、皆がキラキラ楽しそうに夢中に作業している姿がとても印象的で、集中力が切れない子供達にも驚きました。

アイデア溢れる子供達との家づくりを通じて、私達建築士の方が子供達から沢山の思いもよらない発想と感動を分けてもらえたように思います。

～こどもの感想～

- ・家をつくるのは大変だけど、手伝ってくれた人のおかげで、うまく作ることができました。
- ・家づくりは楽しいなと思いました。

～保護者の感想～

- ・子供達の自由な発想が形になっていく様子がみれてとても良かったです。子供達も自分の言ったことをすぐ形にしてもらい大満足だったようです。
- ・工作は大好きでよくダンボール工作をしています。今日はいつもと違う本格的なものことができました。勉強になりました。



## 「東北ブロック会女性委員会いわて大会」

～建物再生、温故知新。古きを訪ねて新しきを創る。～に参加して

由利支部 周防 敦子

平成28年9月3日・4日と二日間にわたり、岩手県盛岡市にて東北ブロック会女性委員会が開催されました。

盛岡に到着してすぐ、岩手県公会堂・岩手銀行旧本店などを見学しました。市内を流れる中津川沿いを歩くと心地より風が吹き、盛岡の街は川と共に発展したのだと感じました。そして美術や文学の魅力が凝縮され、古い物と新しい物を上手に融合させて残された街並みを満喫させていただきました。

そして、岩手県公会堂にて基調講演。東京大学生産技術研究所 腰原幹雄先生『いろいろな木造建築』の講演ではこれからの木造建築の可能性。岐阜県立森林文化アカデミー三澤文子先生『木造建築病理学に基づく木造住宅の改修～住宅医の育成』の講演は住宅改修について大変貴重なお話を聞かせていただきました。私は木材に携わる事が多いのでとても勉強になった講演会でした。

また、各県より古い建物を残すための活動や事例

発表。秋田県は柳谷節子さんの『小坂町の明治百年通りへの移築再生する旧小坂鉱山配電所木骨レンガ造りのリノベーションについて』の発表。「ああ、ここでコーヒーを飲みながらゆっくりしたい」と思わせるレンガ造りの空間。是非、今度訪れてみたいと思いました。

翌日は「鉾屋町」等説明を聞きながらの見学。北上川の船運が盛んで、古い町屋や商家が残る地域。そのような街並みの中にも新しい住宅が建ち、塀などを工夫して新しくても町並みになじむようにしているのが印象的でした。

この二日間、とても楽しく過ごさせていただきました。岩手県建築士会のおもてなしに感謝です。そして盛岡のまちなみの『古きを訪ねて新しき』を勉強させてもらいました。





## 「電化システム導入施設研修見学会に参加して」

平成 28 年 12 月 10・11 日 東北電力(株)秋田支店主催

横手支部 鈴木 ルリ子

最初に今回のお話を頂いたとき、個人ではなかなか宿泊することができない高級旅館へ泊まると聞きすぐ飛びつきました。

当日参加した女性委員の皆さんから楽しみな様子が伺えて、移動のバス内は新しいことに出会い、触れることへのわくわく感がいっぱい、まさに大人の遠足といった感じです。

錦秋湖を過ぎたころからどんよりとした雪景色もなくなり、同じ東北とは思えない快晴の景色に気分も高まりました。

最初の目的地、紫波町「オガールプラザ」へ到着。外国へ来たような街並みには官民複合施設が立ち並んでいました。人が集まる公共施設へ民間企業も参入し、そこからサービス産業が始まり、来訪者が増えることから地域へお金が落ちるといえる流れができる。そして不動産価値も上がり、雇用も生まれるという循環の基盤をつくりあげた実行力に圧倒させられました。街づくりは人づくりへと進化し続けるというオガールの街づくりはこれからも注目していきたいところです。

そしてメインのお宿、西和賀町「山人～yamado～」へ到着。白銀の世界の中で間接照明の優しい明かりがホッと心を和ませてくれて日常の慌しさから開放された「静」を体感できる癒しの空間でした。ロビーから外廊下を介して離れとなっている客室には、リビング、メゾネットタイプの寝室、温泉付きでゆったりとしたお部屋のづくり、ヒートポンプ空調システムにより真冬を感じさせない快適さで正に贅沢な空間です。

夕食は生まれて初めてのジビエ料理を体験しました。荒々しいイメージでしたが、繊細な盛り付けに目でも楽しめる美味しい料理を堪能しお酒もは

かどり楽しい女子会となりました。至れり尽くせりのお宿を離れるのはとても名残惜しく帰りは後ろ髪ひかれるような思いでした。バスが見えなくなるまで手を振り見送りして下さった若い男性スタッフさんの素敵な笑顔がとても印象的でした。

最後は大仙市「特別養護老人ホームこもれびの杜」を見学させていただきました。オール電化厨房で新調理システムを取り入れることにより人件費を抑えられることや、築12年とは思えない厨房の綺麗さに手入れのし易さが見てわかりました。動線計画もしっかり考えられた効率のいい作業空間、スタッフの行き届いた管理方法に感心させられました。入居待ちをしている方が沢山いるということがよくわかります。

今回は楽しく勉強になる企画へ参加させていただきました。段取りをして下さった方々には大変感謝しております。

また、女性委員の方々と道中のおしゃべりや宿泊でまた距離を縮められたことも私の喜びでもありました。



### H28 年度 活動内容一覧

- |   |  |
|---|--|
| 4 月 第 1 回東北ブロック会女性委員会(委員長)  | 10 月 建築士会全国大会 大分大会   |
| 6 月 第 1 回幹事会・平成 28 年度女性委員会会議<br>第 1 回学習会<br>「秋田市新庁舎 説明会・見学会」<br>意見交換会 | 11 月 秋田県建築士会仙北大会   |
| 7 月 全国女性建築士連絡協議会 奈良大会<br>親子体験学習「気持ちのいい家をつくろう」<br>In 美郷                | 2 月 第 2 回幹事会<br>全県女性委員会発会 30 周年記念講演・式典・祝<br>宴<br>記念講演「秋田で考える建築のこれから」 |
| 9 月 H28 東北ブロック女性委員会岩手大会<br>見学会(盛岡市)                                   | 3 月 第 3 回幹事会<br>発会 30 周年記念誌発行  |

## ビバ！30周年！！

中央支部 伊藤 加久子

この度、(一社)秋田県建築士会女性委員会がめでたく発会30周年を迎える事が出来ました。これもひとえに、諸先輩方が根気強く活動を続けてきて下さったお陰であると、本当に感謝しております。

一口に30年と言っても、その年月は長いものです。発会当時産まれてもいなかった我が子は、今、親となり、学校卒業したてのピチピチギャルだった私も、今は違う意味でピチピチのおばさんになっています。この長い年月を会員の皆さんと支え合い、協力しながら活動を続けてきたことを誇りに思いながら、30周年記念事業に取り組みさせていただきました。

まず、記念事業のひとつとして平成29年2月11日、記念講演・式典・祝宴を秋田市のルポールみずほで行ないました。記念講演は秋田公立美術大学の犬谷准教授をお招きし「秋田で考えるアートと建築のこれから」と題して講演いただき、秋田出身ではない先生が秋田の良さを一生懸命全国に発信してくださっていることに頭の下がる思いで、県人の私達にも、もっともっと出来る事があるのではないかとの思いを新たに、聞き入ってしまいました。

記念式典では、県建築士会の湯沢会長、青年委員会の工藤委員長からご祝辞を賜り、歴代女性委

員長からも発会の経緯や思い出をお話しいたきました。何事もトップランナーは大変な事で、当時の苦労話などを生で聞かせていただいた時間は大変貴重でした。祝宴では、あちらこちらで昔話に花が咲き、写真のスライドショーを、皆さんが笑顔で懐かしそうに見ていたのが印象的でした。

もう一つの記念事業として、これまでの歩みを1冊にまとめ30周年記念誌として制作することになりました。なかなかまとめることができず一時はどうなるのかと心配しましたが、尻に火が点いた状態となって、俄然スピードがアップし、何とか年度内には皆さんにお届けできる運びとなりました。これも、会員の皆様方のご協力無しでは成し得なかったと思います。ありがとうございました。

無事に30周年記念事業を終えることができましたが、私が最も嬉しかった事は、この記念事業に発会当時のメンバーみんなで臨めたことです。一区切りついた感じですが、まだまだ諸先輩方にはご指導していただかなくてははいけませんし、私達会員全員が、その背中を見て、さらに40周年、50周年と続けていかなければと思っています。がんばっていきましょう！



### \*編集後記\*

H28年度も盛りだくさんの活動、皆様お疲れ様でした！ 担当は仙北支部 藤田でした♪

【委員長】戸嶋真紀子(仙北)【副委員長】安達真由美(北秋委員長)伊藤加久子(秋田中央委員長)藤田晶子(仙北委員長)【幹事】石木田麻梨子(鹿角委員長)藤嶋秀美(北秋)池田佐保(能代山本)工藤秀子(秋田中央)樋渡博子(秋田中央)竹田青子(秋田中央)周防敦子(由利委員長)小松奈美(仙北)鈴木ルリ子(横手委員長)佐藤全子(雄勝委員長) 会員数66名(3月25日現在)

『女性委員会だより』発行：平成29年3月 発行者：一般社団法人秋田県建築士会女性委員会

